

平成4年度東北地方建設局との講話・懇談会報告

総務委員長 齋藤 芳 徳

1. 概 要

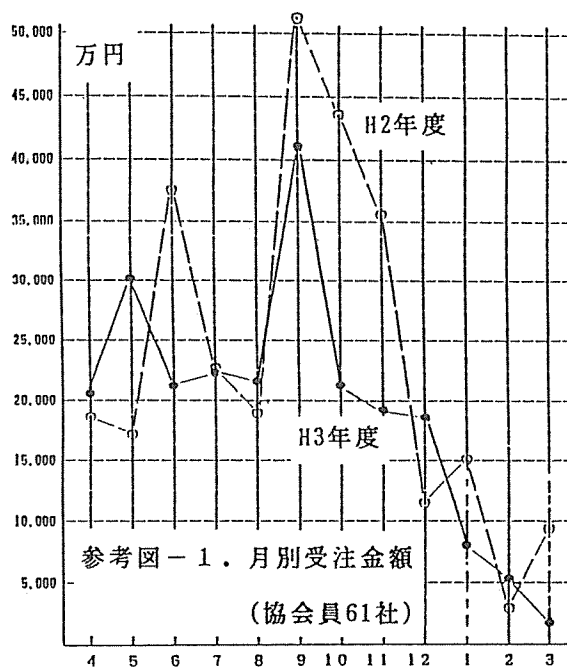
去る8月27日、平成4年度の標記会合（通算第7回）をホテル仙台プラザにおいて開催しました。今年度は、協会の各委員会から提出された要望事項を中心に検討し、比較的細かい点まで突っ込んだ討議がなされるよう配慮しました。会の詳細なプログラムは本文末に添付しましたが、以下要望事項と討議の内容について報告します。

2. 要望事項の趣旨と内容

今回は、前年度と同様の一般的な事項の他に、技術的問題、積算上の問題も含めて、以下の7項目を協会側要望事項として提案しました。

(1) 事業量の確保について

東北地建発注業務の過去2ヶ年の受注状況を、協会員各社（61社）に対するアンケート結果からまとめて参考図－1に示した。数字で表すと下表のようになり、平成3年度は、件数が増えているにもかかわらず金額では対前年の80%に止まり、一件当たりの金額も小さくなっている。このような傾向から、今年度も前年度以上の事業量を確保して頂けるよう要望した。



	受注件数	受注金額	一件当たり	(単位; 万円)
H 2 年度	220	286,453	1,032	
H 3 年度	260	232,306	893	

(2) 前払金の促進について

同じアンケートから、受注件数に対する前払金有無の過去3ヶ年の結果を参考表－1に示した。毎年の要望項目であり、平成3年度は大巾な向上が認められるが、今年

度も更に配慮頂けるよう要望した。

参考表－１．前払金有無調査結果

(単位：件　％)

年度 対象	平成元年			平成２年			平成３年			３ヶ年合計		
	受注 件数	前払 件数	％	受注 件数	前払 件数	％	受注 件数	前払 件数	％	受注 件数	前払 件数	％
治水	154	51	33.1	99	30	30.3	129	66	51.2	382	147	38.5
道路	102	27	26.5	98	32	32.7	109	51	46.8	309	110	35.6
その他	7	2	28.6	23	0	0.0	22	5	22.7	52	7	13.5
計	263	80	30.4	220	62	28.2	260	122	46.9	743	264	35.5

(3) 契約書式統一の進行状況について

前年度の懇談会で、事務の合理化等から地質調査業務独自の契約書に統一して頂けるよう要望し、検討中であるとの回答を頂いていたが、その後の作業の進行状況について質問した。

(4) 週休２日制移行に伴う適正工期の設定について

会員各社の大半が週休２日制に移行しつつあり、また社会的にも時短の方向に進みつつあるため、地質調査業務においてもこの点を工期に反映して頂けるよう要望した。

(5) 軟弱地盤調査について

この問題は、今年度から初めて取り上げたもので、以下の２つの事項について要望した。

- ① 地質状況が不明で、調査ボーリングを先行してから別孔でサンプリングを行なった場合の掘削費の計上について
- ② オールコア採取における土砂部分のコア箱提出について、業務の効率化、保管スペースの問題等から、特に必要な場合を除いて標本ビンの提出のみにする。

(6) 山岳仮設積算の明確化について

現在発注されている山岳地調査の仮設費は、一式計上されているのが実情であり、

仮設手段、運搬距離等の仮設条件の明細を特記仕様で明確にして頂きたいこと、また現地条件等により仮設工に変更が生じた場合、変更の対象にして頂くよう要望した。

(7) コンサルタント的業務費の促進について

東北地建発注業務については、その費用の大半が設計書に反映されているが、地方自治体発注業務については未だ反映されていないケースが多く、指導改善して頂けるよう要望した。

3. 要望事項に対する回答

これ等の要望事項に対し、東北地建側を代表して小野技術調整管理官より回答があり、以下にその要点をまとめて報告します。

(1) 事業量の確保について

平成3年度の地質調査事業量の低下は、ダム事業および高規格道路関係の事業が一段落したことに原因している。今年度も同じ傾向であるが、大型補正予算も予定されており、安定した事業量の確保に努力したい。

(2) 前払金の促進について

東北地建としては、平成2年1月より前払金支払い対象枠を拡大して運用しており、徐々にその効果が表れてきていると思われる。今後も各工事事務所に対し制度の活用を指導していくので、受注者側も積極的に申し入れをしてもらいたい。

(3) 契約書式統一の進行状況について

従来の「測量請負契約書」を調査に読み換える書式を、「測量調査等請負契約書」に改め、本年7月10日付けで各事務所に通達し8月1日より施行しており、要望の趣旨に沿えたものと考えている。

(4) 週休2日制移行に伴う適正工期の設定について

現行の工期は4週6休制で設定されているが、土木工事については今年度から原則的に4週8休制を取り入れている。過渡期で未だ運用上の問題も多いが、地質調査業務についても本省と協議しつつ来年度から実施する方針で努力する。

(5) 軟弱地盤調査について

サンプリングの問題については、業務計画打合せの段階でなるべく採取位置の決定がなされるよう事務所指導を行なうが、どうしても別孔でのサンプリングが必要な場合、実際に合った積算をするよう指導する。

土砂ボーリングにおけるコア箱提出の問題については、共通仕様書504条成果品の

項で、未固結の試料は1 m毎もしくは各土層毎に標本ビンに密封して提出すると謳われており、この点を担当者と良く打合せして運用してもらいたい。またコア箱の保管の問題についても、有料とするように事務所を指導していく。

(6) 山岳仮設積算の明確化について

不明確な場合は、現説時に双方で良く確認し合う努力を先ず第一にしてもらいたいが、仮設条件を明示するよう事務所にも指導する。また条件が当初と異なった場合は、打合せの上変更に応ずるよう指導する。

(7) コンサルタント的業務費の促進について

地方自治体については、昨年度適切な積算がなされるよう通知した。なお各県、市町村との技術管理業務連絡協議会の場を通じて指導を強化する。

4. おわりに

以上要点のみ取りまとめて報告しました。全体的な印象としては、多岐にわたる難しい要望にもかかわらず非常に前向きな回答が頂けて、今後の業務遂行の上で大きな前進が認められたと感じています。やはり受注者側としても、色々な問題を積極的に取り上げて、発注者側と協議する態度を持ち続けることが大切であると痛感した次第です。

ここに到るまで中心となって準備頂いた総務委員の皆さん、多大な協力を頂いた広報、技術、積算の各委員会の皆さんに、また積極的に我々の要望事項を検討頂いた東北地建関係各位の皆様に改めて深甚の謝意を表します。

総務委員会としても次年度も更に充実した会になるよう努力する積りですので、今後とも会員皆さんの絶大な御協力をお願いします。



＜付一平成4年度東北地方建設局講話・懇談会議事次第＞

1. 日 時 平成4年8月27日（木）

2. 会 場 ホテル仙台プラザ

3. 出席者 （東北地方建設局側）

入江企画部長、小野技術調整管理官、宮内河川工事課長、小野寺交通対策課長、茄子川契約課長補佐、信太技術管理課長補佐

（東北地質調査業務会側）

役員 長谷理事長、藤島副理事長、奥山、佐藤、永井、斎藤、和島、
田矢、山本の各理事、團、佐藤監事

会員 各県より48名

その他委員会関係者12名、事務局2名

4. 議 事 司会、進行 斎藤総務委員長

講 話

(1) 「新東北紀」について 入 江 企 画 部 長

(2) 東北地方建設局の今後の事業見通しについて

宮内河川工事課長

小野寺交通対策課長

懇 談 会

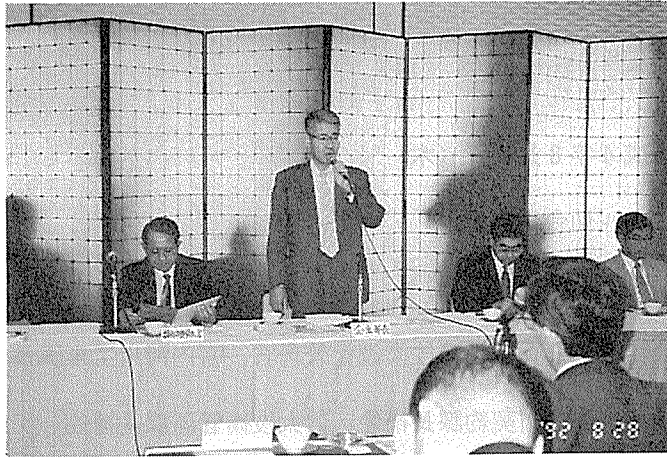
(1) 開会の挨拶（長谷理事長）

(2) 挨拶（入江企画部長）

(3) 要望事項（田矢広報、和島技術、山本積算各委員長）

(4) 閉会の挨拶（福島副理事長）

5. 懇談会 ホテル仙台プラザ 17.30～19.00



挨拶（入江企画部長）



乾 杯



懇 親 会

平成2年度東北地方建設局発注調査業務等受注状況調査表

(単位：件 千円)

月別 対象	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月	
	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額
治水	8	98,300	4	71,700	14	175,535	5	93,150	6	83,285
道路	5	88,100	13	101,136	14	193,684	14	134,476	10	77,275
その他	1	1,500	0	0	4	9,510	2	4,760	2	29,500
計	14	187,900	17	172,836	32	378,729	21	232,386	18	190,060

月別 対象	9 月		10 月		11 月		12 月		1 月	
	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額
治水	16	303,476	15	352,071	12	155,832	5	85,520	7	98,381
道路	13	164,707	4	46,778	11	137,496	4	27,786	6	53,400
その他	4	47,181	3	37,424	5	63,154	1	2,500	0	0
計	33	515,364	22	436,273	28	356,482	10	115,806	13	151,781

月別 対象	2 月		3 月		合 計	
	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額
治水	1	8,800	6	95,100	99	1,621,150
道路	4	21,110	0	0	98	1,045,948
その他	1	1,900	0	0	23	197,429
計	6	31,810	6	95,100	220	2,864,527

※東北地質調査業協会

加盟業者 67社のうち

調査表回答数 55社

回答率82.1%

平成3年度東北地方建設局発注調査業務等受注状況調査表

(単位：件 千円)

月別 対象	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月	
	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額
治水	14	154,395	13	198,053	12	107,214	11	113,465	12	91,051
道路	7	47,750	15	102,221	10	100,742	14	108,315	6	68,643
その他	1	3,300	1	1,150	4	4,033	2	9,450	4	55,305
計	22	205,445	29	301,424	26	211,989	27	231,230	22	214,999

月別 対象	9 月		10 月		11 月		12 月		1 月	
	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額
治水	19	264,689	12	152,330	11	58,861	8	37,750	7	46,440
道路	13	123,325	7	52,630	10	91,433	17	148,105	3	31,700
その他	2	23,168	2	7,861	3	42,761	0	0	2	4,900
計	34	411,182	21	212,821	24	193,055	25	185,855	12	83,040

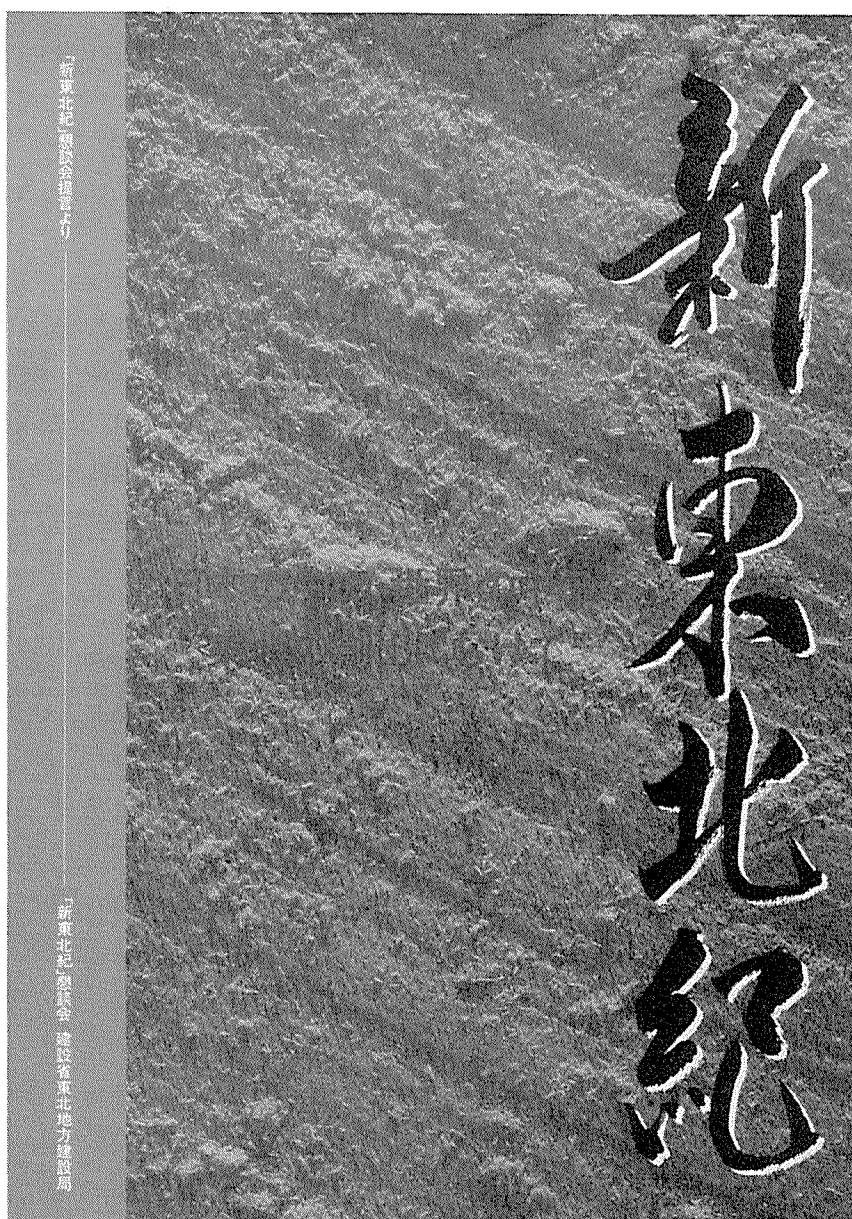
月別 対象	2 月		3 月		合 計	
	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額	受注件数	受注金額
治水	5	19,800	5	11,428	129	1,255,476
道路	5	32,690	2	7,100	109	914,654
その他	1	1,000	0	0	22	152,928
計	11	53,490	7	18,528	260	2,323,058

※東北地質調査業協会

加盟業者 81社のうち

調査表回答数 61社

回答率75.3%



講話の「新東北紀」は入江企画部長により上記資料にもと
ずいて行なわれた。この資料は“日本の中の・世界の中の東
北の創出にむけて”というサブタイトルがついている。

資料の作成は「新東北紀」懇談会事務局・建設省東北地方
建設局企画部による。